

はもりあだより

6月23日～29日は「男女共同参画週間」です

内閣府 令和3年度「男女共同参画週間」キャッチフレーズ

女だから、男だから、ではなく、私だから、の時代へ。

特集：大学生に聞く！^{ホンネ}本音座談会





特集

ホッネ 大学生に聞く本音座談会



若い世代の人は、「男女共同参画」について、どんな考えを持っているのでしょうか。
今回、男女共同参画週間に合わせ、はもりあ四日市では、四日市大学の学生さんに「男女共同参画」について、お話を聞きました。

男女共同参画と聞いて、どんなイメージをもっていますか？



小原 薫さん
環境情報学部4年

小原さん：中学、高校くらいから、よく聞くようになった気がします。“男性と女性が平等に社会に貢献していけるような社会にしていこうね”というイメージを持っています。
鈴木さん：最初は、男女平等ってことかなと思ったのですが、それだけではなく、“仕事や家事分担とか、そういう面で、男性も女性も平等ですよ”ってこととか、“社会で活躍する場が、男性にも女性にもある”ということを進めていくことかなと思っています。
村田さん：もともと男女の差があって、男性はできるけれど、女性はできないとか、男の人は力仕事、女の人は細かい作業というイメージがあって、それを男女に関係なく、自由に選べるようになることかなと思います。
小林さん：平等って言葉どおりに、職業とかで女性だけという雰囲気ではなくて、男性も参画できるようなものにしていく、男性メインの仕事も女性が加わって新たな意見が取り入れられるようなイメージを持っています。

学校教育の場は比較的平等な分野だと言われますが、性差を感じたことはありますか？

小林さん：体育で、走る距離が男女で違うとか。自分は、吹奏楽部だったのですが、音楽は、女の人のイメージなのか「え、男なのに音楽やってるの？」と言われたことはありますね。
村田さん：高校で、女子の割合が9割以上だったのですが、体育祭で、男子は女子より足が速いからと、周りを走らされたり、準備で重い荷物を持たされたりして、運動が苦手な男子はついていけないくて、その子たちからしたら、それはどうなのかなと。性別ではなく、人によって決めるべきなのではないかなと思ったことはありました。
小原さん：私は、中学・高校と女子だけでしたので、制服は、ズボンもなく、プールもありませんでした。体育も女子高だからという理由で柔道がなかったです。
鈴木さん：校則が、女子より男子の方が厳しく設定されていた気がします。私の学校は、女子の制服にスカートもズボンもありましたが、小さい頃は、スカートを当たり前のように履いていたので、そういう選択もあるんだなと思いました。あと、持久走の距離などで、男子と女子の扱いの違いを感じました。男子だから体力があるというわけではないのに。

身近なところで、性別で役割分担を感じたことはありますか？

小原さん：アルバイト先で、結婚とかあるからねと言われたことはありますが、男女格差についてあまり感じたことはないです。我が家では、母が家事をしますが、母は“どうして私が家事をやらないといけないの”とは思っていません。身近に感じている人がいないからかもしれません。
鈴木さん：父が調理師で、家事は、ほとんど父がやっていて、母も働いていて、助け合ってやっています。私にとっては、2人でやるのが当たり前なので、パートナーが“女性が家事をやってよ”という人だったら困るかな。
村田さん：個人的には、昔の考え方もかもしれませんが、“男性が支える”みたいな考えがあって、そこは譲りたくなくて、男だから良い仕事に就かなくちゃとか、そこのプレッシャーはすごく感じます。
小林さん：アルバイト先での話になりますが、重いものを持ったり、ゴミ処理の担当は男で、女性にはやらせないみたいなところがあります。



村田 伊織さん
総合政策学部3年

私たちが、こう思います！ ”男女共同参画“

将来的に描く人生のビジョンはありますか？



鈴木 里奈さん
総合政策学部4年

小原さん：仕事をずっとやって、自分の好きなことをやる人生がいいなと思っていて、結婚とか今のところ考えていません。もし好きな人と一緒に暮らすとしても、男とか女とかではなくて、自分が好きな人と一緒にいられたらいいと思っています。お金は必要だし、安定した仕事に就きたいので、今は公務員を目指して頑張っています。
鈴木さん：今のところ、働き続けていきたいです。結婚とか出産とかのライフイベントで、言葉としていいのか、わかりませんが、養われる立場になっても、生きがいとして人と関わることは必要だと思うので、仕事はしたいです。パートという形であっても働き続けたいと思います。
村田さん：地元で就職をして、パートナーに休みは合わせていきたいです。働いてもお金を使う時間がないと意味がないので、休みは合わせたいと思っています。
小林さん：小学校の教員になりたいと思っています。自分の時は、先生とフレンドリーな感じだったけれど、今は難しい世の中で、コミュニケーションも取りにくいので、個人的には、生徒と昔ながらのやり方で接していきたいです。パートナーが出来たとして、共働きかどうかは、話し合いで決めていきたいです。

これからこうなっていくといいなと思う男女共同参画社会のあり方はどういうものですか？

小原さん：“あなたは、女性だから”とか“男性だから”という主語がなくなると思いますよ。個々人で評価してもらえると良いなと思います。
村田さん：自分は、男性と女性の役割分担は別に良いと思っています。男性ができること、女性ができることというのは、各能力だと思うので。ただ、そこで男性だから女性だからではなくて、自由に選択できるというか男性も女性も固定観念ではなく、能力に応じて、自由に選択できる流れになればいいなと思います。
小林さん：自由に選択できるにつきます。皆がやりたいことを選択してやっていくのがいいのかなと思います。
鈴木さん：若い世代は小学生の頃から人権教育とかあったりして、知識がある状態で成長していると思うので、自分たちの世代が就職する時は、まだ古い考えの人もいると思うのですけれど、これからは何とかなくなっていくんじゃないかなと思います。



小林 裕大さん
環境情報学部3年

男女共同参画週間

「男女共同参画社会基本法」の公布・施行日である平成11年6月23日にちなみ、毎年6月23日から6月29日は、男女共同参画週間とされています。

内閣府では「自分を好きになって、自分を信じ、創り上げた自由な発想が受け入れられる社会。みんなで築いていく 男女共同参画社会とは？！みなさんが進んでいく社会への願い・想いのこもったキャッチフレーズ」をユース世代を対象に募集し、応募総数2,785点の中から、今年度のキャッチフレーズ「女だから、男だから、ではなく、私だから、の時代へ。」を決定しました。

この期間、「男女共同参画」について理解を深めてもらうことを目指して、さまざまな取り組みが行われています。四日市市では、毎年、週間に合わせ映画祭を開催しています。

はもりあ四日市25周年記念事業 ～ここから始める。自分らしい選択～

講演会・映画上映会のご案内

男女共同参画センター「はもりあ四日市」は、令和3年8月で25周年を迎えます。

今年度は、毎年、開催しております「三重県内男女共同参画連携映画祭」とあわせ、記念講演会と映画上映会を開催します。

第1部 記念講演会「CM炎上からみるジェンダーバイアスとステレオタイプ」



CMはなぜ炎上するのか。事例を取り上げながら、CMにおける問題点を男女共同参画の視点からわかりやすくお話いただきます。誰もが自分らしく生きるために、男女共同参画がどのように必要とされているか、みんなで考えてみませんか。

講師：白河桃子さん
相模女子大学 大学院特任教授
昭和大学 客員教授

【日時】 令和3年6月26日（土）

13:00～16:30（開場12:30）

第1部：13:10～14:10

第2部：14:30～16:30

【会場】 四日市市文化会館第2ホール

【定員】 200人程度（先着順）

【料金】 無料ですが、**整理券**が必要です

※整理券は、はもりあ四日市・市民生活課・あさけプラザで配布しています。

【託児】 無料：6カ月～小学校3年生程度

※先着10人程度 事前申し込みが必要です
託児をご希望の方は、「はもりあ四日市」まで

【その他】 マスクの着用必須

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況によって、延期または中止になる場合があります。延期または中止の場合は、市ホームページ等でお知らせします。

第2部 映画上映会

「82年生まれ、キム・ジョン」

字幕上映 118分

みどころ

彼女の心はなぜ壊れてしまったのか。

私たちはその人生を通して“違和感”と“痛み”の正体と、未来への希望を知る。



© 2020 LOTTE ENTERTAINMENT All Rights Reserved.

お知らせ

このたび、男女共同参画センター「はもりあ四日市」では、男女共同参画ハンドブック「開けよう！思い込みのとびら」を作成しました。

知っているようで知らない男女共同参画について考える、ヒントや気づきにつながる一冊です。



四日市市男女共同参画センター はもりあ四日市



〒510-0093

四日市市本町9-8 本町プラザ3階

開館時間 9:00～21:00（日・月曜日・祝日休み）

【TEL】 059-354-8331

【FAX】 059-354-8339

はもりあ四日市
ホームページQRコード



【Eメール】 kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp

ホームページは…

はもりあ

検索

本町プラザと駐車場のご案内図

